

【決算委員会】

(1) 審議概観

〔平成11年度決算外2件の審査〕

平成11年度決算及び国有財産関係2件は、第151回国会の召集日である平成13年1月31日に提出された。このうち、11年度決算については、13年11月28日の本会議において、財務大臣からその概要報告を受け、質疑を行った後、同日、委員会に付託された。また、国有財産関係2件についても、同日、委員会に付託された。

平成11年度決算の概要は、次のとおりである（Ⅲの3（2）「平成11年度決算の概要についての報告」を参照）。

平成11年度一般会計歳入歳出決算における歳入決算額は94兆3,763億円、歳出決算額は89兆374億円であり、差引き5兆3,389億円の剰余を生じた。この剰余額は財政法第41条の規定により、平成12年度一般会計歳入に繰り入れられた。11年度一般会計予算中の翌年度への繰越額は3兆8,019億円、不用額は6,101億円、また、財政法第6条の純剰余金は1兆402億円である。

平成11年度特別会計歳入歳出決算における38の各特別会計の収納済歳入額を合計した歳入決算額は310兆1,755億円、支出済歳出額を合計した歳出決算額は279兆3,689億円である。

平成11年度国税収納金整理資金受払計算書における資金への収納済額は56兆3,669億円であり、資金からの一般会計等の歳入への組入額等は55兆5,600億円であるため、差引き8,069億円が平成11年度末の資金残額である。

平成11年度政府関係機関決算書における14機関の収入済額を合計した収入決算額は7兆2,094億円、支出済額を合計した支出決算額は6兆9,204億円である。

国有財産関係2件の概要は、次のとおりである。

平成11年度国有財産増減及び現在額総計算書における11年度中の国有財産の差引純増加額は5兆2,117億円、11年度末現在額は105兆8,364億円である。

平成11年度国有財産無償貸付状況総計算書における11年度中の国有財産の無償貸付の差引純増加額は148億円、11年度末現在額は1兆1,485億円である。

委員会においては、13年11月28日、財務大臣から平成11年度決算外2件の概要説明を、会計検査院長から平成11年度決算検査報告及び平成11年度国有財産検査報告の概要説明をそれぞれ聴取した。

(2) 委員会経過

○平成13年10月17日（水）（第1回）

- 理事の補欠選任を行った。
- 国家財政の経理及び国有財産の管理に関する調査を行うことを決定した。

○平成13年11月28日（水）（第2回）

- 平成11年度一般会計歳入歳出決算、平成11年度特別会計歳入歳出決算、平成11年度国税収納金整理資金受払計算書、平成11年度政府関係機関決算書
平成11年度国有財産増減及び現在額総計算書
平成11年度国有財産無償貸付状況総計算書

以上3件について塩川財務大臣から説明を聴いた後、会計検査院の検査報告について金子会計検査院長から説明を聴いた。

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 平成11年度決算外2件の審査並びに国家財政の経理及び国有財産の管理に関する調査のため政府関係機関等の役職員を必要に応じ参考人として出席を求めることを決定した。

○平成13年12月5日（水）（第3回）

- 平成11年度決算外2件の継続審査要求書並びに国家財政の経理及び国有財産の管理に関する調査の継続調査要求書を提出することを決定した。
- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 平成11年度決算外2件の審査並びに国家財政の経理及び国有財産の管理に関する調査のため政府関係機関等の役職員を閉会中必要に応じ参考人として出席を求めることを決定した。
- 閉会中における委員派遣については委員長に一任することに決定した。

(3) 付託議案審議表

・決算その他（3件）

備考欄記載事項は本院についてのもの

件名	提出月日	参議院			衆議院		
		委員会付託	委員会議決	本会議議決	委員会付託	委員会議決	本会議議決
平成11年度一般会計歳入歳出決算、平成11年度特別会計歳入歳出決算、平成11年度国税収納金整理資金受払計算書、平成11年度政府関係機関決算書	13. 1.31 (151回)	13. 11.28	継続審査		13. 9.27 決算行監	継続審査	
	○13. 11. 28 財務大臣報告						
平成11年度国有財産増減及び現在額総計算書	13. 1.31 (151回)	11.28	継続審査		9.27 決算行監	継続審査	
平成11年度国有財産無償貸付状況総計算書	13. 1.31 (151回)	11.28	継続審査		9.27 決算行監	継続審査	